

2020年度第3回新潟競馬特別レース名解説

<第1日>

○ 村上特別

村上（むらかみ）は、新潟県北部、日本海に面する市。かつては、村上藩の城下町として栄えた。市街地を流れる三面川の鮭や村上牛が有名。また、日本海沿岸には瀬波温泉や笹川流れがあり、観光都市としても知られている。

○ 新発田城特別

新発田城（しばたじょう）は、新潟県新発田市にある城。周囲に菖蒲（あやめ）が多く咲いていたため、菖蒲城とも呼ばれる。鎌倉時代に新発田氏により築城されたとされている。

○ 上越ステークス

上越（じょうえつ）は、新潟県南西部の市。昭和46年に高田、直江津の2市が合併し市制施行。上越の名は、越後国を上方（京都）から近い順に上越・中越・下越としたことに由来する。

<第2日>

○ 浦佐特別

浦佐（うらさ）は、新潟県南魚沼市の地名。一帯は上越の深雪地帯で、数多くのスキー場が点在している。

○ 三面川特別

三面川（みおもてがわ）は、新潟県と山形県の県境にある朝日連峰を水源とし、新潟県村上市で日本海に注ぐ川。江戸時代から鮭の遡上で知られている。

○ サマーマイルシリーズ関屋記念（GⅢ）

全4戦で実施されるサマーマイルシリーズの第3戦。

本競走は、旧新潟競馬場の所在地「関屋」の名を残すため、昭和41年に創設された重賞競走。当初は2000mのハンデキャップ競走として実施されていたが、50年には1600mとなり、58年からは負担重量が別定に変更され現在に至る。

旧新潟競馬場は新潟市関屋字青山下百間割にあったが、戦後長期間にわたって中央競馬は開催されていなかった。昭和30年代後半になると競馬再開の機運が高まり、40年に新潟市東部の現在地に新たな新潟競馬場が完成し、22年ぶりに中央競馬が再開された。

<第3日>

○ 瀬波温泉特別

瀬波温泉（せなみおんせん）は、新潟県村上市、日本海に面した温泉。明治37年に石油を掘削していたところ、温泉が噴出したことが始まり。

○ 清津峡ステーキス

清津峡（きよつきょう）は、信濃川の支流である清津川が形成した峡谷。上信越高原国立公園に属し、左右に切り立つ巨大な柱状節理の断崖とその峡谷美により国の名勝天然記念物に指定されている。また、黒部峡谷、大杉谷とともに日本三大峡谷のひとつに数えられている。

○ 日本海ステーキス

日本海（にほんかい）は、日本列島と樺太、朝鮮半島との間にあるアジア大陸の縁海。間宮・宗谷・津軽・対馬・関門の5海峡で外海と連なり、黒潮から分流する対馬海流、沿海州に沿って南下する諸寒流が流れている。

<第4日>

○ 閃光特別

閃光（せんこう）は、瞬間的に強く発する光のこと。本競走は、閃光の如く直線を駆け抜ける競走馬のスピード感をイメージして名付けられた。

○ 阿賀野川特別

阿賀野川（あがのがわ）は、新潟県と福島県にまたがって流れる川。延長約210km。猪苗代湖に源を発する日橋川と尾瀬沼に発する只見川とが合流し、新潟市東部で日本海に注ぐ。流域には豊富な水量を利用した水力発電所が多く、電源地帯を形成している。

○ NST賞

NSTは、新潟市に本社を置くNST新潟総合テレビの略称。昭和43年開局で、フジテレビ（FNS）系列。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

<第5日>

○ 岩室温泉特別

岩室温泉（いわむろおんせん）は、新潟県中西部にある温泉。泉質は塩化物泉。江戸時代より北国街道の温泉地として栄え、近接する弥彦神社への参拝客で賑わった。

○ 稲妻ステークス

稲妻（いなずま）は、空中電気の放電によって生じる電光。また、それが雲に反映したものの。動作が非常にすばやいことや、時間が極めて短いことの例えにも用いられる。

本競走は、稲妻の如くダイナミックに直線を駆け抜ける競走馬をイメージして名付けられた。

○ BSN賞（L）

BSNは、新潟市に本社を置く新潟放送の略称。ラジオは昭和27年開局、テレビは33年の開局で共にTBS系列。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

<第6日>

○ 五頭連峰特別

五頭連峰（ごずれんぼう）は、新潟県北部、五頭連峰県立自然公園内にある菱ヶ岳と五頭山を中心とする連峰。新潟競馬場の向正面奥に見える。周辺は温泉・キャンプ場・ゴルフ場などが充実しており、シーズン中は多くの観光客が訪れる。

○ 朱鷺ステークス（L）

朱鷺（とき）は、ペリカン目トキ科の鳥。学名は「*Nipponia nippon*（ニッポニアニッポン）」。国際保護鳥、国の特別天然記念物に指定されており、新潟県の県鳥でもある。明治時代の中頃までは日本各地に生息していた。佐渡市にある「佐渡トキ保護センター」では、トキの保護・繁殖が行われている。

○ 新潟2歳ステークス（GⅢ）

本競走は、昭和43年にオープン特別として創設された『新潟3歳ステークス』を前身とする重賞競走。56年に重賞競走に昇格した。平成9年には距離が1200mから1400mへ、さらに14年からは1600mへと延伸され、2歳世代で最初に実施されるマイル重賞となった。

<第7日>

○ 両津湾特別

両津湾（りょうつわん）は、新潟県佐渡島の北東部にある湾。定置網の漁場としては日本有数で、イナダやブリなどの漁獲が多い。湾奥には両津港がある。

○ 弥彦特別

弥彦（やひこ）は、新潟県中部にある村。同村と長岡市にまたがってそびえる弥彦山は、佐渡弥彦米山国定公園の中核をなす標高 634m の山であり、弥彦神社の霊峰である。弥彦神社の燈籠神事は、昭和 53 年に国の重要無形民俗文化財に指定された。

○ 長岡ステークス

長岡（ながおか）は、新潟県中部にある市。信濃川の下流に位置することから古くより河川交通が発達し、活発な商業活動が行われていた。夏の「長岡まつり」の花火は、日本三大花火大会のひとつとして有名。

<第 8 日>

○ 飯豊特別

飯豊（いいで）は、山形・福島・新潟の 3 県にまたがる連峰。名は、山容が飯を豊かに盛った姿に似ていることに由来する。最高峰は標高 2,128m の大日岳。非火山性の山としては東北一の高さを誇る。

○ 古町ステークス

古町（ふるまち）は、新潟市中央区の地名。新潟最大の繁華街で、多くの商店や飲食店などが立ち並ぶ。

○ サマー 2000 シリーズ農林水産省賞典新潟記念（GⅢ）

全 5 戦で実施されるサマー 2000 シリーズの最終戦。

本競走は、昭和 40 年の新潟競馬再開と同時に創設された重賞競走。創設当初より 3 歳以上、2000m のハンデキャップ競走として実施されている。40 年代には秋に実施されていたこともあったが、49 年以降は夏季に行われており、夏の新潟競馬の総決算として定着している。

○ 雷光特別

雷光（らいこう）は、稲光・稲妻のこと。本競走は、直線 1000m のコースを、競走馬が雷の光のように一瞬で駆け抜ける様子をイメージして名付けられた。